

■中近東：湾岸協力会議諸国、7月に国際連系を開始

湾岸協力会議系統連系局（GCCIA）は2009年7月7日、湾岸協力会議（GCC）加盟国間が進めている国際連系線にサウジアラビア、クウェート、カタールおよびバーレーンの4カ国が今年7月後半までに連系する予定であると発表した。この国際連系線は急増する電力需要に対応するためのもので、投資額は14億ドルある。GCCIAによれば、アラブ首長国連邦は当初の予定より遅れるものの2011年には連系し、将来的にはオマーンも参加するという。また、オマーンを除くGCC加盟5カ国は同日、電力融通契約を調印しており、オマーンも近々調印するとみられる。GCCIAによれば、今回の合意は、最優先事項である緊急時の電力融通のためになされたもので、送電料金は発生しないとしている。また、系統はGCCIAが運用し、予備容量はオークションにより各国へ割り当てられる。今後、GCCIAは規制委員会を設置して、各国間の融通電力について送電料金表を作成する予定となっている。